

経営力向上支援事業の進捗状況について

1 要旨・目的

経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、担い手の経営発展意欲の醸成を図り、企業経営への転換に向けた支援に取り組んでいるこの事業について、進捗状況を報告する。

2 現状・背景

現在、企業経営体の育成に向け、家族経営から常時従事者を受け入れた経営への転換を経て、農場長などの中間管理職を配置する経営、更には、生産・営業・販売等の部門管理体制を整えた組織へと成長させるというプロセスの実現を支援している。

成長過程での経営体の課題は様々であり、担い手が着実にステップアップするためには、各発展段階に応じた支援体制の充実が重要である。

3 概要

(1) ひろしま農業経営者学校

経営体の農場長候補の従業員を対象としたミドルマネジメントコースと、企業経営体の経営者を対象としたトップマネジメントコースを新たに設置し、家族経営体から企業経営体まで、担い手の経営の発展段階に応じて、経営スキルの習得、経営ビジョンの作成などを目的とした講座を6コース実施している。

ア 対象者、事業内容、スケジュール等

コース	対象者・事業内容	定員	スケジュール	開催場所
経営発展 チャレンジ コース	対象：開催地域の若手経営者 内容：経営者としての心構えや経営理念の重要性を理解し、自身のライフプランを作成する。	60名 (実績53名)	6/8～10/20 (各2日間)	大崎上島町 広島市 三次市
経営発展 実践コース	対象：経営発展チャレンジコース受講者 内容：財務、雇用など経営発展に必要な経営スキルを習得し、経営者としての経営計画を作成する。	30名 (実績29名)	6/28～3/1 (各6日間)	大崎上島町 広島市 三次市
課題解決 コース	対象：前年度の経営発展実践コース修了者等 内容：経営計画の実行に必要な課題解決能力を習得する。	30名 (実績11名)	6/21～3/7 (10日間)	オンライン
先進経営 視察コース	対象：企業経営体への発展を志向する経営者 内容：先進経営体での視察研修及び座学を通じ、経営指針書を作成する。	夏期3名 (実績3名) 冬期4名	夏期8/1～10/26 冬期12/14～3/6 (各7日間)	広島市等 及び現地
ミドルマネジ メントコース	対象：経営体の従業員（農場長クラス） 内容：管理・監督者（農場長）として必要なスキルを習得する。	10名 (実績10名)	9/1～2/6 (7日間)	オンライン 及び広島市
トップマネジ メントコース	対象：企業経営体の経営者 内容：さらなる経営発展に向け、マネジメント力の向上を図る。	10名 (実績10名)	10/21, 1/23 (2日間)	広島市

イ 予算（単県）

32,497千円

(2) アグリ・フードマネジメント講座（農業MBAスクール）

県立広島大学と連携し、持続可能な経営に向けたイノベーションを生み出すため、農業者と消費者をつなぐマーケティングや経営戦略などを考える講座を開催する。

ア 講座内容

ゲスト講師からコロナ禍等における新時代のマーケティング戦略を学んだ上で、新しい商品やサービスのプロデュースを支援している（株）マクアケの協力のもと、農産物等を使った新商品開発を実践することで、消費者等に賛同を得られる事業構想の考え方を習得する。

イ 講座対象者等

経営発展を目指す農業者、アグリ・フードビジネスに関心のある方など

定員：15名（実績：14名）

受講料：10万円/人

ウ スケジュール

9月17日（土）～2月25日（土）のうち10日間

エ 予算（単県）

3,578千円

(3) 農業経営者サポート事業

経営発展意欲のある経営体が抱える経営の法人化や労務管理等の経営課題に対し、専門家と関係機関が連携し、課題解決に向けた支援を実施している。

ア 派遣専門家、支援概要

対象者	派遣専門家	主な支援内容
目標 50 経営体 〔実績 35 経営体〕 R4.11.14 現在	・ 中小企業診断士 ・ 社会保険労務士 ・ 税理士 ・ 司法書士 ・ 製造業での工程管理実務経験者 など	・ 経営診断・改善 ・ 雇用・労務 ・ 財務管理 ・ 法人化 ・ 生産工程管理のマニュアル化 など

イ 予算（一部国庫）

29,980千円

(4) 企業経営実践支援（チーム型支援）

企業経営の実現を目指す経営体に対し、人材育成や予算・実績管理などの重点課題に絞り、その仕組みづくりや効率的な運用に向け、経営コンサルタントの派遣を実施している。

ア 対象者、事業内容、スケジュール等

(ア) 令和4年度新規分

対象者	市町	栽培品目	事業内容	スケジュール
A	広島市	施設野菜	<ul style="list-style-type: none"> 各経営体において、コンサルタントが代表者や役員、従業員それぞれに対し、経営体の良い点、悪い点、自身の役割等に関するヒアリングを実施。 ヒアリング結果をもとに、人材育成や予算・実績管理に係る今後の取組を提案。 	5/19～ (12回/経営体)
B	三原市	水稻, 露地野菜		
C	三原市	落葉果樹		
D	三次市	施設野菜		
E	東広島市	水稻, 露地野菜		
F	東広島市	酪農等		

(イ) 令和3年度継続分

対象者	市町	栽培品目	事業内容	スケジュール
G	北広島町	水稻, 施設野菜	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、人材育成等の仕組み導入に取組み、導入後の運用状況を確認するとともに、導入効果を高めるための助言を実施。 	4/13～ (8回/経営体)
H	世羅町	落葉果樹		
I	世羅町	落葉果樹		

イ 予算（単県）

18,583 千円

(5) 電子カルテのシステム整備（経営評価システム）

担い手の着実な経営発展を支援していくためには、経営体の生産・経営データを収集した上で、そのデータを基に優先課題を抽出し、効果的な解決策を提案するとともに、県の支援実績を検証し、施策の見直しを行うことが重要である。

そこで、今年度、経営体の生産・経営データや過去の支援実績を一元管理することにより、経営評価し、経営課題の見える化や支援施策の効果検証を行うシステムを整備する。

ア システム整備の主なスケジュール

時期	実施内容
5月下旬～9月下旬	経営評価指標の作成 経営体のヒアリングを実施
9月下旬	システムのテスト版完成
10月中旬～2月下旬	システムのテスト運用の実施 (実際のデータを入力し、経営評価指標等を改善)
3月下旬	システム完成

イ 予算（国庫）

10,000 千円

アグリ・フード
マネジメント講座
2022



農と食の未来を描いてみませんか？

ひろしま ファーマーズ テーブル



経営力を磨き、あなたのアイデアで、



ひろしまファーマーズテーブルは 未来を創るビジネスデザインを描き、 新しい経営に挑戦します。



「アグリ・フードマネジメント講座～ひろしまファーマーズテーブル～」は、MBA教育を実践する県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)が本プログラムのために独自に開発したカリキュラムで、広島県農林水産局と連携して実施する講座です。

いま必要な農業経営能力とは？卓越な経営マネジメントを実践している経営者・起業家の活動を支えるエコシステムとは何か？生産者と消費者をつなぐマーケティングプラン、危機を乗り越えるための先端技術、持続可能な経営のためのイノベーションなど、今の時代をいち早く切り拓く起業家や専門家をゲストにむかえ学びます。

国の内外で活躍する人材との交流をとおして、受講生は自らの経営感度を高め、未来を創るビジネスデザインを描き、新しい経営に挑戦していきます。本プログラムがめざすのは危機を乗り越え、イノベーションを起こそうとするもの同士の共創とそのネットワーク構築です。

社会をよりよくするアイデアの連鎖を生み出し、売れていく商品・サービスを世に送り出すことで、信頼と共感により持続可能な経営を実現することを目的に、(株)マクアケのキュレーターからの実際の指導をとおして、最終的に自分たちがMakuakeに挑戦し、広く社会に呼び掛け、賛同を得られる事業構想の創成を目指します。



過去の受講生の声



講義でまとめたアイデアでMakuakeに実際に挑戦し、多くの方からの反応が得られたことで、販売するモノの見方によって売り方やターゲットが変わり、新しい販路ができることを受講と実体験を通じて学びました。生産者単独で実施するのは時間的・作業的に厳しいですが、受講仲間助けられ、無事に完了できました。



沖 貴雄さん (農業者)

成果発表で描いたビジネスモデルを現在実践しています。これからの農業は他分野とかかわりが持てる成長ビジネスなのだと思感しています。

「楽しい」と思えた講習は今回が初めてでした。農業に関する内容ではありませんでしたが、「経営全般」につながる内容も多く、すぐに取り掛かれるヒントがたくさんありました。



世の中をもっとよくするチャレンジが毎日続々と登場するアトラシイものや体験の応援購入サービスです。Makuakeでは、これから生まれ、世の中に広がっていく商品やサービスを扱っています。

コーディネーター講師



もうり しんさく
毛利 信作

三菱商事株式会社農産部入社後、米国SESMARK FOODS,INC.社長、同社穀物部穀物製品ユニット統括マネージャー、米国TH FOODS,INC.社長、同社関西支社食料部長、三菱食品(株)取締役常務執行役員関西支社長。タイ、ベトナムにて複数の食品会社を立ち上げる。その他グローバルビジネス分野での業績多数。

県立広島大学大学院 経営管理研究科 (HBMS) 教授



よしかわ なるみ
吉川 成美

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学修士、東京農業大学大学院農業経済学博士。永田農業研究所にてアジア地域における環境保全型農業と農家支援プロジェクトに参加。2019年から「アグリ・フードマネジメント講座ひろしまファーマーズテーブル」を担当。生産者も消費者も双方が参加できる農業の未来を描いている。

県立広島大学大学院 経営管理研究科 (HBMS) 教授

「こんなに美味しいのに～」は作り手の論理。「価値は顧客が決める」今の時代に、どう対応するのか、実践力を高めましょう。

あなたの人生を豊かにするマネジメント講座です。多くの共感を得る収益性の高い「農」と「食」のビジネスを！

講座内容

講義編

1. 9月17日(土) 9:00~12:00 [3時間] コロナ禍で生まれた「食品マーケティングの新潮流」
—農産品、農産加工品を中心として—
2. 10月8日(土) 9:00~12:00 [3時間] 農業経営の現実的理解と、ビジネスプランの考えかた
3. 10月29日(土) 9:00~12:00 [3時間] 坂ノ途中の取り組みから農産物流のこれからを考える
4. 11月26日(土) 9:00~12:00 [3時間] 農と食卓をつなぐ、パッケージサラダの原料調達とマーケティング

 <p>①</p> <p>コロナ禍で生まれた 「食品マーケティングの新潮流」 —農産品、農産加工品を中心として— 三菱食品戦略研究所 客員研究員 北濱 利弘氏</p>	 <p>②</p> <p>農業経営の現実的理解と、 ビジネスプランの考えかた ファームサイド株式会社 代表取締役 佐川 友彦氏</p>	 <p>③</p> <p>坂ノ途中の取り組みから 農産物流のこれからを考える 株式会社坂ノ途中 代表取締役 小野 邦彦氏</p>	 <p>④</p> <p>農と食卓をつなぐ、 パッケージサラダの 原料調達とマーケティング 株式会社サラダクラブ 専務取締役 田中 龍二氏</p>
--	--	--	--

フィールドワーク

11-12月

再生・シトラスパーク瀬戸田の
マーケティング戦略と農の観光資源化

訪問先：シトラスパーク瀬戸田（株式会社せともす）
※日程は開講後に調整して決定します。



実践編

1. 12月17日(土) 9:00~12:00 [3時間] ファンづくりからはじまるモノづくり
2. 1月14日(土) 9:00~12:00 [3時間] 地域資源を最大に生かし、コラボレーションする
3. 1月29日(日) 9:00~12:00 [3時間] 作り手の想いと顧客の欲しさを直接つなぐ商品開発
4. 2月18日(土) 9:00~12:00 [3時間] プレゼンテーション準備
5. 2月25日(土) 9:00~12:00 [3時間] Makuakeへのプレゼンテーション

 <p>①</p> <p>ファンづくりからはじまる モノづくりについて 株式会社マクアケ 中四国拠点責任者 朝倉 亮氏</p>	 <p>②</p> <p>地域資源を最大に生かし、 コラボレーションする 瀬戸内醸造所株式会社 代表取締役 太田 祐也氏</p>	 <p>③</p> <p>作り手の想いと顧客の欲しさを 直接つなぐ商品開発 “明るい未来を創る”D&Fクリエイティブ株式会社 代表取締役 矢野 健一氏</p>	 <p>④</p> <p>プレゼンテーション準備</p>  <p>⑤</p> <p>プレゼンテーションの様子</p>
--	---	---	--

※テーマは変更になる可能性があります。

開講期間	2022年9月17日(土)～2023年2月25日(土)の10日間	
開講時間	9時00分～12時00分	
対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営発展を目指す農業者 ・ 農業参入を検討されている企業 ・ アグリ・フードビジネスに関心のある方 ・ 新規就農やフードビジネス関連の起業を目指す方 ・ アイデアを売れるカタチにしたい方 	
募集人数	15人	
会 場	県立広島大学広島キャンパス(広島市南区宇品東1-1-71)等 ※現場見学等内容によって他の会場を使用することもあります。	
オンライン の場合	新型コロナウイルスの感染状況から、オンライン(Zoom)による実施となる場合があります。オンラインでの実施の場合、①～③のすべてが別途必要となります。 ①自宅等での学修環境 ②インターネット環境 ③PC / タブレット等端末	
受講料	100,000円(税込)	
申込方法	アグリ・フードマネジメント講座ひろしまファーマーズテーブルの ウェブサイトから申込フォームに入力してください。 URL https://farmers-table.jp	
申込締切	2022年9月10日(土)	
受講決定	申込フォームに記入いただいた受講志望等に基づき書類審査を行います。通過者の方には、受講の案内及び受講料の振込方法等を連絡させていただきます。	
個人情報の 取り扱い	申込及び受講にあたりご提供いただいた個人情報は、本講座の運営以外の目的には使用しません。	

問合せ先	<p>アグリ・フードマネジメント講座 ひろしまファーマーズテーブル運営事務局(株式会社ケン・リース内) 〒734-0022 広島市南区東雲1丁目12-27 TEL 050-3138-5030 Email contact@farmers-table.jp</p>
------	---